

■ 最新の設備と豊かな緑につつまれた「大船キャンパス」

大学院・大学・短期大学の学生が学ぶ「大船キャンパス」は、創立60周年記念事業の一環として平成15年4月に開設されました。

キャンパスは豊かな緑につつまれ、里山をそのままの姿で残した「東山」は四季折々の表情を見せてくれます。春には鶯、夏には蝸、秋の夕暮れには虫の音、冬は寒さを凌ぐひよ鳥などの野鳥の声もここをなごませてくれています。また、この「東山」の一角はビオトープとして理科の観察など、教員を目指す学生達の生きた教材としても活用されています。

アクセスもよく、東京から50分、横浜からは17分の大船駅から徒歩8分と通学にも恵まれた環境にあります。

校舎は「図書館棟」「教室棟」「実習棟」「音楽棟」「アリーナ棟」と「食堂棟」の6つの棟で構成されており、それぞれに設備を充実させています。

【図書館棟】

1Fは視聴覚ホール・展示サロンなどがあり、公開講座や各種イベントが行われています。

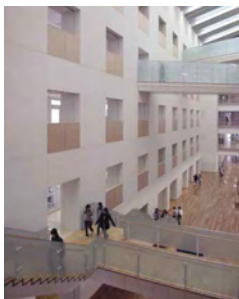
2～3FはIT環境が整備された機能的な閲覧室や書庫があります。



メインアプローチから図書館

【教室棟】

1Fは光あふれる吹き抜けのコミュニティモールで、パソコンを自由に使えるマルチメディアラウンジを併設しています。このコミュニティモールでは昼休みにコンサートも開催され学生の発表の場としても活用されています。校舎は木材をふんだんに使用したぬくもりのある明るい色調となっています。



コミュニティモール

【実習棟】

家政・保健・栄養系と教育・児童・心理系の実験・実習室が充実しています。ゾーニングは1～2Fが家政・保健・教育・児童・心理系の実習室。3～4Fが管理栄養士養成を中心とした栄養系の実験・実習室となっています。



保育演習室

幼稚園の教室をそのまま再現した「保育演習室」では幼稚園や保育園での教育を実際に身体を動かして学ぶことができます。

「給食経営管理実習室」はHACCP方式に対応しており、給食管理の現場を体験しながら給食を管理運営していく方法、そして組織管理にいたるまでを学んでいきます。



給食経営管理実習室▶

キャンパス散策（鎌倉女子大学）



鎌倉女子大学は、「感謝と奉仕に生きる人づくり」を教育の理念に掲げ、昭和18年に創設されました。

本学の位置する鎌倉は、中世より800年の時を経た歴史と文化を背景に、湘南の明るさと国際都市横浜にも隣接した進取の気風をかねそなえた街です。

この鎌倉唯一の大学である本学は、今日、幼稚園から大学院までの総合学園として発展し、大学においては家政学部〔家政保健学科・管理栄養学科〕と児童学部〔児童学科・子ども心理学科・教育学科〕を、短期大学部は〔初等教育学科・専攻科初等教育専攻〕を設置しています。

「家政保健学科」では養護教諭1種免許状、中学校・高等学校教諭1種免許状（家庭・保健）の教員免許をはじめ、衣・食・住に関するさまざまな資格を取得でき、企業への就職実績も好調です。また「管理栄養学科」では、管理栄養士養成を柱に、管理栄養士国家試験合格へのバックアップ体制を確立し、今年是国家試験合格率91.6%の成果を見ました。

「児童学科」では、幼稚園・小学校教諭1種免許状、保育士などの免許・資格が取得でき、90%ほどの学生がなんらかの免許・資格を生かした専門職に就職しています。また、先駆的に「子ども（18歳未満）」に着目した心理学研究を行う「子ども心理学科」では、本格的な心理学研究を基礎に、子ども臨床心理実地研究などの実践的なカリキュラムが編成されています。平成19年4月に開設された「教育学科」では、小学校教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状（国語）（社会）、高等学校1種免許状（国語）（地理歴史）（公民）、博物館学芸員の免許・資格が取得でき、本学伝統の教員養成の実績に基づき、専科に強い教員の養成を目指しています。

「初等教育学科」においても、幼稚園・小学校教諭2種免許状、保育士などの免許・資格が取得でき、多くの卒業生が幼稚園教員・保育士として活躍しています。また、短期大学部卒業後、更に学びを深めたいというニーズに応えるために、「子ども野外活動」・「子育て支援」の2つの専門コースを持つ「専攻科初等教育専攻」を設置すると共に、学部編入制度も整えています。



大船キャンパス（グリーンスクエアと時計台）

■ 関連キャンパス

【岩瀬キャンパス】

幼稚部生から高等部生までが学ぶ岩瀬キャンパスにはグラウンド、テニスコート、室内温水プールなどの体育施設や、1,344名が収容できる大ホール「松本講堂」があり、一部の施設は大学でも利用しています。



岩瀬キャンパス



山ノ内学舎

北鎌倉の和風建築物で数寄屋風の母屋と茶室、陳列スペースを持つ蔵で構成。茶道などの伝統文化を学ぶ場として利用されています。



二階堂学舎

学生の研修の場であるとともに公開講座などの会場にも使われており、大学関係者だけでなく、広く一般にも開放しています。

■ 学生支援

- **クラスアドバイザー** 学生が一人で悩みをかかえずに、気持ちよく有意義な学生生活を送れるように各学科各学年ごとに「クラスアドバイザー」をおいています。履修に関するアドバイスや学生生活でぶつかっているさまざまな問題に対応しています。
- **オフィスアワー制度** 講義のあとで疑問が浮かんできたり、自主学習でわからないことができたときのために各教員が週に2時限の「オフィスアワー」を設定しています。学生はその時間であれば予約なしに教員に会うことができ、気軽に質問などをすることができます。



学生相談室

● 学生相談室

子ども心理学科のカウンセリングの専門家である教員を中心にして学生生活の悩みや問題に対応しています。

学生相談室では大学の各部署と連絡をとり、できるだけ早期に悩みが解消できるようつとめています。

■ 就職支援

就職センターが早い時期から各種セミナーを開催し、徹底した就職指導を行っています。

職員がマンツーマンで学生とじっくり話し合う「個別カウンセリング」が本学の就職指導の大きなポイントとなっています。

平成18年度卒業生の各学科の就職内定率は、家政学部家政学科（現家政保健学科）[95.5%]、管理栄養学科[95.4%]、児童学部児童学科[97.2%]、子ども心理学科[93.2%]、短期大学部初等教育学科[95.6%]と良好に推移しています。